

森山啓 もりやま けい 詩人、文藝評論家、小説家。明治二十七年二月十日新
 潟縣生まれ、平成二年七月二十日没（一九四一）。本名森松慶治。別
 名森松一雄。第四高等學校を経て東京帝國大學文藝部中退。昭和二年
 日本プロレタリア藝術聯盟、次ついでに全日本無産者藝術聯盟（略稱ナツプ）、
 翌年日本プロレタリア作家同盟（略稱ナルプ）に参加。十一年の雑誌
 『文藝界』同人となり、詩も小説も轉じた。十五年檢察下獄。十七
 年より二十一年まで石川縣立小松農學校教諭。

著譯書『プロレタリア詩の爲の意義・諸問題の検討・作法』（昭和
 七年五月）二十一日白揚社）、『プロレタリア詩の諸問題』
（中野重治
 伊藤詠吉
 佐野徹夫

合著・中野重治編、昭和七年六月十八日叢文閣）、『ハイネ研究』（合
 著・高沖陽造編、昭和八年六月十日隆章閣）、『ハイネ詩集』（譯、

昭和九年二月十日白揚社）、『ゲーテ詩集』（譯、昭和九年二月二十

日白揚社）、『一九二四年詩集』（共編、昭和九年十月二十日前奏

社）、詩集『潮流』（昭和十年五月十七日ナウカ社）、『文藝論』（昭

和十年五月十七日二書房『唯物論全書』（『文藝論争』（昭和十

年八月十日ナウカ社）、『一九二五年詩集』（共編、昭和十一年一月

五日前奏社）、『日本海邊』（昭和

十四年四月十五日砂子屋書房『新叢

民文藝叢書』（『文藝評論』（昭和十四年七月十九日河出書房）、

『北窓ひろく』（昭和十四年十一月一日教材社）、『野葡萄』（昭和

十六年一月二十日昭和書房）、『遠方の人』（昭和十六年十一月十五

日甲書林）、『海の扇』（昭和十七年七月二十五日文藝春秋社）、

『現代人生論』（合著・高山豹文編、昭和十七年十一月十五日教材



社）、『萱原』（昭和十八年七月十日

青木書店）、『渚（なぎさ）』（昭和

二十一年十一月二十五日石川・東邦物

産株公會社文化部、東邦書林發賣）、

『遠方の人』（中山義秀解説、昭和一

十二年四月十日新潮社）、『青海の簾』

（昭和二十一年十一月二十五日角川書店『角川小説新書』）、『野菊

』露一能登長屋節考』（昭和十五年四月十日創林社）、『谷岡の女

たち』（平成元年八月二十五日新潮社）等。

